

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

# NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2024~2025年度 No.302

## 2 月報

那須クラブ会長 主題

ユースと共にミッションを



強調月間：TOF

FF

HTW (世界を癒そう)

今月の聖句 ヨハネによる福音書 17 : 21

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしの内にいるようにしてください。(略)

### 2月第1例会 (ユースリーダー活動報告)

日時：2月23日(日) 午後4時30分~7時30分

場所：日本基督教団 西那須野教会 1階ホール

内容：YMCAの活動に奉仕して下さる、ユースリーダーの今年度の報告と、卒業されるリーダーへの感謝を込めて、那須ワイズより、記念品を贈ります。

司会 藤生 強 書記

開会点鐘・挨拶 会長 田村 修也

ワイズソング斉唱・ワイズの信条の斉唱

聖書朗読・祈禱 副会長 村田 榮

ゲスト・ビジター紹介 会長

ユースリーダー紹介 武田将吾担当主事

報告会

第35回ユースボランティアリーダーズフォーラム

つなリーダー

第55回全国YMCAリーダー研修会

めんまリーダー、ぐりリーダー、せっぽうリーダー  
卒業リーダーへの感謝記念品贈呈

報告事項 YMCA・ワイズ

YMCAの歌

食前祈禱 田村 暁美 メネット 会食

閉会挨拶・点鐘 会長 田村 修也

例会後、時間のある方は、午後7時30分からの西那須野教会の夕礼拝に参加ください。当日は、アジアサンデーでアジア学院関係者(通訳付き)のお話があります。

会費 メン・メネット 1,000円

ご参加いただける方は、1月20日(木)までに村田まで連絡をください。

2024~2025年度 主題

国際会長：(IP) A・シャナヴァスカーン (インド)

「より良い世界のために、共に」

アジア太平洋地域会長：(AP) ジョウン・ウォン (香港)

「大きなインパクトを起こそう」

東日本区理事：(RD) 山田 公平 (宇都宮)

「ワイズの方向性を見極める」

北東部長： 大久保 知宏 (宇都宮)

「戦略2032を意識して」

### クラブ役員

会長：田村 修也

副会長：村田 榮

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：塩澤 達俊

ブリテン：田村 修也・村田 榮

### 1月例会データ (出席率：71.4%)

メンバー4名、メネット2名、ゲスト3名、

メイキャップ1名

在籍者 7名

### 2月 Happy Birthday

2/12 村田 榮メン

### 3月例会 (張さんの送別会?・田村さんの退院祝い)

日時：未定

場所：未定

### 3月第2例会 (役員会)

日時：2月28日(金) 午後4時30分~

場所：田村会長宅

### 東日本区CS事業委員会

日時：2月16日(日) 午8時~

場所：ZOOMでの参加

## 巻 頭 言

原田 明子

私の主の年2025年

主の年2025年も、早や一か月を過ぎました。顧みれば、2024年も健康が守られ多くの方々と共にYMCA・ワイズ活動に参加できましたことは感謝でした。

さて、近況報告になりますが、昨年の秋からこの一月まで高齢の姉たち二人（他県に住む）のために、以前から気になっていながらできなかったことに着手しました。何時やるの、今でしょ！とばかりに。何から手をつけようか…お互い老齡でも解決を急ぐばかりに押し付ける事はご法度です。

一つ目は、一昨年に夫（私の義兄）を亡くした姉が、電話口で「今日は一日誰とも話さなかった」との一言でした。これには年末年始もあり行動をすぐに開始できました。この後も電話や訪問、ショッピング等一緒の時間を大事にしたいと思っています。

二つ目は、長女の心配事でした。姉は超高齡にも拘らず公の福祉・支援の何たるかを知らず、周りも本人も支援を受ける事などに大変無頓着であることでした。とても電話では説得が難しく、実情を知るべく静岡に行きました。問題は、福祉関係の手続きは、1～3か月ほど時間がかかることですが、まだその入口にも立っていないということでした。姉は高齡にも拘わらず（時には手抜き料理で）毎日の食事を作り、洗濯物を二階のベランダに干していました。一事が万事、タイル張りの大きなお風呂には、滑り止めのインテリアパーもありませんでした。夫・時近の病気で福祉・支援のための手続きをにわか勉強した私の説明にも、「他人にお世話になるのは申し訳ない」と話し、考え込んでいる様子がみとれました。私がごり押ししているかのような変な雰囲気にも私も自信を無くしました。しかし、その後も電話での説明を繰り返しておりましたら、姉から電話がはいりました。たまたま訪ねてくださった民生委員の方にお話しさせて頂いたとのことでした。その切り口があったのです。先ずはひと安心でした（道は、まだまだです）。

だいぶ前のことです。かつて諏訪中央病院名誉院長にして作家の鎌田 實さんが話す言葉に感銘を受けました。人生にはいろいろなことがあります。僅か一歳にして養子に出され、病身の妻を抱えたタクシー運転手の家庭で育った氏はその人生を振り返り、『にもかかわらず』の思いを深くしている、というのです。私にも、いくつもの「にもかかわらず」がありましたし、あります。この頁でも、随分とつぶやいてしまいました。お許しください。

この一年も、神に深く結ばれていることに感謝し、一步一步進みゆきたく祈り願います。



1月例会（新年例会）於：おかしげ 2025.1.18

## 1月例会(新年例会)報告

日時：2025年1月18日(土) 午後6時～

場所：西那須野 「おかしげ」

出席者：村田、藤生、原田、張の各メン、村田メネット、ゲスト：潘牧師ご夫妻、平山前担当主事、中村さん 計9名

恒例の「新年例会」を、すき焼きやとんかつなどがとても美味しい「那須おかしげ」(那須塩原市永田町)にて、ワイズ活動にご協力いただいている日本キリスト教団西那須野教会の潘牧師夫妻と昨年11月に挙式を行った前担当主事の平山氏を招き、食事を頂きながらの「フリートーク」にて行いました。普段のワイズ例会は西那須野教会を会場にお借りして行うことが多いため潘牧師にはいつも列席頂いています。今回はいつもの雑談の延長という感じで、「大学生ボランティアリーダーにはキリスト教会を身近に感じてほしい」「ワイズも教会も若い人にどうやったら来てもらえるか」などなどを話しました。もちろん答えは出ませんが、何かのヒントに繋がればと思います。

平山主事には挙式の様子をお聞き、写真も見せて頂きました。司式は潘牧師にお願いしたとのことで、参加者から「式がとても良かった」と多くの声があったそうです。また「これからの住まい」のことなどちょっと立ち入った(!?)こともお聞きしましたが、『新年』ですし『幸せのお福分け』と思い、色々伺いました。仲間の幸せは嬉しいものです。体調不良等による欠席メンバーもあり、ゲストを含めて9名での例会となりましたが、各々が楽しく談笑し、楽しいひと時を過ごしました。

## 東日本区 Yサ・CS委員会 報告

今年度は北東部部長の計画で、委員会に所属する委員は、クラブに依頼されており、那須クラブは、Yサ・CS委員会に所属となった。田村会長の体調不良を受けて、村田副会長が代理で出席をしています。ZOOM開催です。

1月26日(日)午後8時からの委員会に参加して、那須クラブの植樹例会についての活動内容を説明した。当日は、わがクラブ以外に東京YMCAが主催しワイズが参加している「クリーンレンジャー」活動と、東京グリーンクラブの「神田川船の会」活動報告が行われた。2月16日(日)午後8時から、東新部で行われている「YY広場」と、東京多摩スマイルクラブの「プランターでの野菜講座」と、松本クラブの「Youth for NOTO」の報告が行われた。3月16日(日)午後8時より第3回目が開催されます。どなたでも参加できます。

山田理事より連絡があり、今年度行う植樹例会の日程が決まれば、連絡をくださいとのことでした。

東日本区会計より、後期の会費の請求があり、会計より支払いをしました。

北東部会計より、北東部費の請求があり、会計より支払いをしました。

北東部長より連絡があり、次年度の会長は決まりましたかとの問い合わせがありました。皆さんと相談をして決める必要があります。

## 開拓と信仰の姿「開拓と西那須野教会」-(4)

会長 田村 修也

次に、島村教会の信徒たちに入らせて頂きます。田嶋家は、清和源氏の嫡流新田氏の支族である岩松新田から出た田島又太郎経国が始祖であります。経国は岩松時兼の第7子で、新田郷田島邑を与えられ独立し、地名を取って田嶋氏を姓としました。

経国6世の孫久秋は、武士を捨てて島村に土着しております。これを伝える碑文が、新田郡宝泉村田島郷の日吉神社に収蔵されています。

島村蚕種は田嶋弥兵衛に始まります。(寛政8年～慶応2年、1796～1866)。文政5年(1822)に利根川が大氾濫して、村が石河原と化した際、弥兵衛は南岸の飛地へ移住、新部落を起し養蚕を始めました。当時彼は26歳でした。彼は山形県米沢や福島県梁川にも旅行して蚕種の製造技術を修得して、種屋を開業したのでした。彼は豪放、闊達、大いに働き大いに散ずるといった人柄であったようです。同時に彼は学問にも関心を示して、当時江戸一流の儒学者藤森天山を招いて、子供の弥平、群次郎等に講義を聞かせたことが記録されています。我が国の経済界、蚕糸業界の先達であります渋沢栄一や尾高淳忠も親族で、この兄弟と机を並べて受講した仲だったそうです。

田嶋善平は天保13年(1842)に生まれ。田嶋家の総本家の当主であります。彼は儒学と剣道を学び、弘化4年(1847)に、15歳で父に代わり里正に挙げられています。戊辰戦争では官軍側に入って戦闘に参加して、勲功がありました。明治元年(1868)まで名主を務めております。後には村長に就任しました。後年、県会副議長として群馬県の公娼廃止に尽力しました。群馬県は新島襄の影響を受けた政治家が多く、廃娼運動に取り組んで実現を見ていますが、栃木県では県議会議長はじめ各議員は消極的だったようです。

善平にはこのような武勇伝が伝えられています。幕末から明治初年にかけて、世相は乱れ、盗賊暴徒が暴れ廻り、住民は戦々恐々としておりました。慶応



4年、明治元年になる年ですが、有名な上州の「ぶっこわし」といわれる暴動に際して、善平は敢然と立ち向い、数人を引き連れて利根川原まで賊を追い詰めて、賊の首魁を切って遁走させたというものです。

明治5年には、田島武平、田島弥平、栗原勤三ほか有志と謀りまして、205名の参加を得て、島村勧業会社を設立して東京日吉に支店を設けて、島村蚕種の計画生産、共同販売に取り組みました。会社の定款は渋沢栄一が原案を作って協力指導しております。善平は会計検査役兼評議員として経営に尽力しました。

明治12年には、田島弥三郎、田島弥平と共に、第1回目の蚕種直売のためイタリヤに渡航しました。明治19年には、キリスト教講演会のために自宅を開放して、彼自身も同年島村における第1回洗礼式においてキリスト教に入信しております。翌20年には自分の屋敷内に教会堂を建てて、島村での伝道の拠点としております。田嶋家の総本家の当主であり、村長である善平が、キリスト教信仰を持つことによって、田嶋一族が、島村がキリスト教の拠点となり、ひいては、田嶋弥三郎一家を通して、那須野が原にキリスト教が伝えられることになったのであります。(次号へ続く)

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園  
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光夫

年末に、ウサギの赤ちゃんが2羽生まれました。正確には、地面の穴から出てくるようになったということです。赤ちゃんの野菜を食むしぐさは、とても可愛いです。

年末年始の動物は、大和田さんと私で世話をしました。今年は長い期間でしたので、ラビット・フードはあるものの餌の確保が心配でした。長年お世話になった塩原屋様が閉店され、現在はヨークベニマル様だけですが、キャベツの外葉を年末年始も協力して下さいました。また、卒園生で西那須野教会会員の高久様からは、28日と元旦に沢山いただきました。14日には、菌ちゃん農法で奉仕している深沢敏様も差し入れて下さいました。また、卒園生の中学生も掃除の手伝いにきてくれました。

こう考えてみますと、園の羊やウサギたちは、子ども達や保護者の皆様だけでなく、多くの方に支えられて幸せだと思えます。しかしこれらのお支えは、子ども達の保育・教育の為に下さっていることで、感謝しています。

1月11日の土曜日は、いつもより遅く動物の世話に行きました。掃除を終えて餌やりをする時に、丁度わんぱく保育の子ども達が外に遊びに出てきて、3人がお手伝いをしたいとのことで、頼む事にしました。

私の給餌の仕方は、その日の野菜の量により、ウサギ1羽あたり葉を何枚、野菜を補う形でラビット・フードとフスマ何カップ、干し草は減り具合によってという感じです。

ところが、子ども達の餌やりは全く異なりました。その日は、少なから与えてもよい食パンもありました。「園長先生、サンドイッチにした」、「(ラビット・フードの上に、葉を細かく千切り)トッピングした。美味しく食べてくれるかな」、飲用水の上にパンを浮かべ、別なものには、ラビット・フードを浮かべ、どうしたら、喜んでしかも美味しく食べてもらえるか試行錯誤しながら、3人が協力しながらウサギの食事を作ってくれました。

マルチン・ブーバーの言葉を借りますと、私とウサギは、“IとIt(They)”という「モノ」との関係になっていました。一方子ども達は、聖書に出てくる羊飼いと羊のように、“IとYou”の「人格関係」です。

子ども達は、人間だけでなく、動物に対しても、人格関係で接しています。これは、子どもの特性といわれるかもしれません。今の私たち大人の間人関係は、ソーシャル・メディアが普及するなかで、バーチャルな世界での関係が加速しています。そんな時代だからこそ、人格を大切にしたり関わりを大切にしている子ども達から、学ぶことはより大きいと考えます。

## アジア学院だより

学校法人 アジア学院  
アジア農村指導者養成専門学校  
校長 荒川 朋子

### 異文化交流の意義

新しい年を迎えたが、年末年始の世界は不穏な空気に包まれていた。お隣韓国では時代錯誤を疑うような戒厳令が出され、事態收拾の糸口は未だ見えない。中東シリアでも独裁政権が倒されたが、一触即発の状態が続いている。

しかし、アジア学院では昨年12月に心を和ませるうれしいニュースが舞い込んできた。アジア学院では年に一度、関係団体の協力を得て海外からやってくる学生たちに日本の家庭を体験してもらうために、日本基督教団全国教会婦人会連合会エキュメニカル関係委員会の協力を得てホームステイプログラムを実施している。新型コロナの影響で中止されて

いたが、昨年は5年ぶりに一泊だけのプログラムが再開した。6月のある週末、アジア学院の学生たちが1,2名ずつ、計十数のホストファミリーに招かれ、それぞれが忘れがたい体験をした。



◇小学校低学年  
横田成里明さん  
青山学院初等部  
3年

「インドのなっ豆」

有機農法を学びに日本に留学中のインド人女性のホームステイを受け入れた際の出来事を題材にした。異文化体験の楽しさや驚きを原稿用紙9枚につづらした。

インド北東部ナガランド州出身で、40歳代半ばの「アズイさん」はキリスト教の牧師。その「ふる里の味」が納豆と聞き「カレーじゃないの？」と驚いた。「いろいろなインドがあるんだ」。乾いていてスパイシーな納豆で、さらにびっくりした。

自宅でちらしすしなどの家庭料理を味わってもらい、原宿を一緒に散策した。1泊2日のわずかな時間だったが、「大切な家族」のように感じたという。別れのさみしさの中、「インドをきつとこの目で見に行くのだ」と誓った。

読書好きで、メーテルリンクの「青い鳥」がお気に入りだ。今回の作文は「アズイさんと過ごした時間の楽しさが伝わるような」文章を心がけ、約1か月かけて仕上げた。受賞に「すごくびっくりしたけれど、少し自信になったかな」と笑顔で語った。

異文化体験驚きつつづる

その中で、インドからの40代の女性の学生(牧師)はホストファミリーは初めてというご家庭に受け入れていただいた。うれしいのは、そのご家族の小3(9歳)の娘さんが、その時の体験を原稿用紙9枚の作文につづり、それが全国作文コンクールで優秀な成績を修めたのだ。わずか24時間ほどの体験だが、外国人を初めて家に迎える期待と緊張、だんだんと打ち解けて一緒に楽しく過ごした様子、そして涙の別れまで、彼女の新鮮な驚きと発見、異文化

する力を秘めている」と言い、人間の成長においてカルチャーショックを大いに勧めた。その作文では、わずか9歳の子であっても人間はすでに何かしらの固定概念や偏見で縛られており、異文化体験はその束縛から人間を解放する力になることを教えてくれた。

翻って私たち大人はどうであろうか。凝り固まった考え方、偏見から自分自身を解放する力や術を持っているだろうか。しかしそれ以前に、自分の偏った考え方に執着し、そのことがどれだけの多くの衝突や不幸の原因になっていることに気づいているだろうか。

9歳の女の子の異文化体験は、人間は互いの違いに固執するのではなく、皆が共通して持っている人間性の善いものや美しいものを素直に尊重し合い、楽しく共に生きることができると示してくれた。

(上毛新聞 2025年1月31日付「視点 オピニオン 21」転載)

YMCAだより

◇公益財団法人の事業区分を再編申請中

公益財団法人の事業区分は①公益目的事業、②収益事業、③法人会計から成ります。とちぎYMCAのほとんどの活動は①公益目的事業に該当し(図参照)、②収益事業は現在「指定管理：宇都宮市青少年活動センター(トライ東)」です。

「指定管理はそんなに収益が出るのか？」と思われる方もあるでしょう。実際には収益はあまり出ず(行政サービスそのものなので)公益性が極めて高い事業です。来年度から新たに宇都宮市まちづくりセンター(まちぴあ)の指定を受けます。そこで、指定管理者事業を公益目的事業に移行させようと申請中です。年度初めには間に合わず次回の審査会エントリーとなりそうですが、将来にわたって持続可能性のあるYMCA運営のためにチャレンジ中です。

◇変遷の概要 公益財団法人とちぎYMCA 2025年度～(案)

公益行	公益目的事業(図1)	公益行	公益目的事業(図2)
<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 運営管理業務</li> <li>・ 青少年のスポーツ活動</li> <li>・ グループ活動</li> <li>B. グループ活動</li> <li>・ 活動支援</li> <li>・ 活動支援(2,3歳)児童</li> <li>・ 活動支援(4歳)児童</li> <li>・ 活動支援(5歳)児童</li> <li>・ 活動支援(6歳)児童</li> <li>・ 活動支援(7歳)児童</li> <li>・ 活動支援(8歳)児童</li> <li>・ 活動支援(9歳)児童</li> <li>・ 活動支援(10歳)児童</li> <li>・ 活動支援(11歳)児童</li> <li>・ 活動支援(12歳)児童</li> <li>・ 活動支援(13歳)児童</li> <li>・ 活動支援(14歳)児童</li> <li>・ 活動支援(15歳)児童</li> <li>・ 活動支援(16歳)児童</li> <li>・ 活動支援(17歳)児童</li> <li>・ 活動支援(18歳)児童</li> <li>・ 活動支援(19歳)児童</li> <li>・ 活動支援(20歳)児童</li> <li>・ 活動支援(21歳)児童</li> <li>・ 活動支援(22歳)児童</li> <li>・ 活動支援(23歳)児童</li> <li>・ 活動支援(24歳)児童</li> <li>・ 活動支援(25歳)児童</li> <li>・ 活動支援(26歳)児童</li> <li>・ 活動支援(27歳)児童</li> <li>・ 活動支援(28歳)児童</li> <li>・ 活動支援(29歳)児童</li> <li>・ 活動支援(30歳)児童</li> <li>・ 活動支援(31歳)児童</li> <li>・ 活動支援(32歳)児童</li> <li>・ 活動支援(33歳)児童</li> <li>・ 活動支援(34歳)児童</li> <li>・ 活動支援(35歳)児童</li> <li>・ 活動支援(36歳)児童</li> <li>・ 活動支援(37歳)児童</li> <li>・ 活動支援(38歳)児童</li> <li>・ 活動支援(39歳)児童</li> <li>・ 活動支援(40歳)児童</li> <li>・ 活動支援(41歳)児童</li> <li>・ 活動支援(42歳)児童</li> <li>・ 活動支援(43歳)児童</li> <li>・ 活動支援(44歳)児童</li> <li>・ 活動支援(45歳)児童</li> <li>・ 活動支援(46歳)児童</li> <li>・ 活動支援(47歳)児童</li> <li>・ 活動支援(48歳)児童</li> <li>・ 活動支援(49歳)児童</li> <li>・ 活動支援(50歳)児童</li> <li>・ 活動支援(51歳)児童</li> <li>・ 活動支援(52歳)児童</li> <li>・ 活動支援(53歳)児童</li> <li>・ 活動支援(54歳)児童</li> <li>・ 活動支援(55歳)児童</li> <li>・ 活動支援(56歳)児童</li> <li>・ 活動支援(57歳)児童</li> <li>・ 活動支援(58歳)児童</li> <li>・ 活動支援(59歳)児童</li> <li>・ 活動支援(60歳)児童</li> <li>・ 活動支援(61歳)児童</li> <li>・ 活動支援(62歳)児童</li> <li>・ 活動支援(63歳)児童</li> <li>・ 活動支援(64歳)児童</li> <li>・ 活動支援(65歳)児童</li> <li>・ 活動支援(66歳)児童</li> <li>・ 活動支援(67歳)児童</li> <li>・ 活動支援(68歳)児童</li> <li>・ 活動支援(69歳)児童</li> <li>・ 活動支援(70歳)児童</li> <li>・ 活動支援(71歳)児童</li> <li>・ 活動支援(72歳)児童</li> <li>・ 活動支援(73歳)児童</li> <li>・ 活動支援(74歳)児童</li> <li>・ 活動支援(75歳)児童</li> <li>・ 活動支援(76歳)児童</li> <li>・ 活動支援(77歳)児童</li> <li>・ 活動支援(78歳)児童</li> <li>・ 活動支援(79歳)児童</li> <li>・ 活動支援(80歳)児童</li> <li>・ 活動支援(81歳)児童</li> <li>・ 活動支援(82歳)児童</li> <li>・ 活動支援(83歳)児童</li> <li>・ 活動支援(84歳)児童</li> <li>・ 活動支援(85歳)児童</li> <li>・ 活動支援(86歳)児童</li> <li>・ 活動支援(87歳)児童</li> <li>・ 活動支援(88歳)児童</li> <li>・ 活動支援(89歳)児童</li> <li>・ 活動支援(90歳)児童</li> <li>・ 活動支援(91歳)児童</li> <li>・ 活動支援(92歳)児童</li> <li>・ 活動支援(93歳)児童</li> <li>・ 活動支援(94歳)児童</li> <li>・ 活動支援(95歳)児童</li> <li>・ 活動支援(96歳)児童</li> <li>・ 活動支援(97歳)児童</li> <li>・ 活動支援(98歳)児童</li> <li>・ 活動支援(99歳)児童</li> <li>・ 活動支援(100歳)児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 運営管理業務</li> <li>・ 青少年のスポーツ活動</li> <li>・ グループ活動</li> <li>B. グループ活動</li> <li>・ 活動支援</li> <li>・ 活動支援(2,3歳)児童</li> <li>・ 活動支援(4歳)児童</li> <li>・ 活動支援(5歳)児童</li> <li>・ 活動支援(6歳)児童</li> <li>・ 活動支援(7歳)児童</li> <li>・ 活動支援(8歳)児童</li> <li>・ 活動支援(9歳)児童</li> <li>・ 活動支援(10歳)児童</li> <li>・ 活動支援(11歳)児童</li> <li>・ 活動支援(12歳)児童</li> <li>・ 活動支援(13歳)児童</li> <li>・ 活動支援(14歳)児童</li> <li>・ 活動支援(15歳)児童</li> <li>・ 活動支援(16歳)児童</li> <li>・ 活動支援(17歳)児童</li> <li>・ 活動支援(18歳)児童</li> <li>・ 活動支援(19歳)児童</li> <li>・ 活動支援(20歳)児童</li> <li>・ 活動支援(21歳)児童</li> <li>・ 活動支援(22歳)児童</li> <li>・ 活動支援(23歳)児童</li> <li>・ 活動支援(24歳)児童</li> <li>・ 活動支援(25歳)児童</li> <li>・ 活動支援(26歳)児童</li> <li>・ 活動支援(27歳)児童</li> <li>・ 活動支援(28歳)児童</li> <li>・ 活動支援(29歳)児童</li> <li>・ 活動支援(30歳)児童</li> <li>・ 活動支援(31歳)児童</li> <li>・ 活動支援(32歳)児童</li> <li>・ 活動支援(33歳)児童</li> <li>・ 活動支援(34歳)児童</li> <li>・ 活動支援(35歳)児童</li> <li>・ 活動支援(36歳)児童</li> <li>・ 活動支援(37歳)児童</li> <li>・ 活動支援(38歳)児童</li> <li>・ 活動支援(39歳)児童</li> <li>・ 活動支援(40歳)児童</li> <li>・ 活動支援(41歳)児童</li> <li>・ 活動支援(42歳)児童</li> <li>・ 活動支援(43歳)児童</li> <li>・ 活動支援(44歳)児童</li> <li>・ 活動支援(45歳)児童</li> <li>・ 活動支援(46歳)児童</li> <li>・ 活動支援(47歳)児童</li> <li>・ 活動支援(48歳)児童</li> <li>・ 活動支援(49歳)児童</li> <li>・ 活動支援(50歳)児童</li> <li>・ 活動支援(51歳)児童</li> <li>・ 活動支援(52歳)児童</li> <li>・ 活動支援(53歳)児童</li> <li>・ 活動支援(54歳)児童</li> <li>・ 活動支援(55歳)児童</li> <li>・ 活動支援(56歳)児童</li> <li>・ 活動支援(57歳)児童</li> <li>・ 活動支援(58歳)児童</li> <li>・ 活動支援(59歳)児童</li> <li>・ 活動支援(60歳)児童</li> <li>・ 活動支援(61歳)児童</li> <li>・ 活動支援(62歳)児童</li> <li>・ 活動支援(63歳)児童</li> <li>・ 活動支援(64歳)児童</li> <li>・ 活動支援(65歳)児童</li> <li>・ 活動支援(66歳)児童</li> <li>・ 活動支援(67歳)児童</li> <li>・ 活動支援(68歳)児童</li> <li>・ 活動支援(69歳)児童</li> <li>・ 活動支援(70歳)児童</li> <li>・ 活動支援(71歳)児童</li> <li>・ 活動支援(72歳)児童</li> <li>・ 活動支援(73歳)児童</li> <li>・ 活動支援(74歳)児童</li> <li>・ 活動支援(75歳)児童</li> <li>・ 活動支援(76歳)児童</li> <li>・ 活動支援(77歳)児童</li> <li>・ 活動支援(78歳)児童</li> <li>・ 活動支援(79歳)児童</li> <li>・ 活動支援(80歳)児童</li> <li>・ 活動支援(81歳)児童</li> <li>・ 活動支援(82歳)児童</li> <li>・ 活動支援(83歳)児童</li> <li>・ 活動支援(84歳)児童</li> <li>・ 活動支援(85歳)児童</li> <li>・ 活動支援(86歳)児童</li> <li>・ 活動支援(87歳)児童</li> <li>・ 活動支援(88歳)児童</li> <li>・ 活動支援(89歳)児童</li> <li>・ 活動支援(90歳)児童</li> <li>・ 活動支援(91歳)児童</li> <li>・ 活動支援(92歳)児童</li> <li>・ 活動支援(93歳)児童</li> <li>・ 活動支援(94歳)児童</li> <li>・ 活動支援(95歳)児童</li> <li>・ 活動支援(96歳)児童</li> <li>・ 活動支援(97歳)児童</li> <li>・ 活動支援(98歳)児童</li> <li>・ 活動支援(99歳)児童</li> <li>・ 活動支援(100歳)児童</li> </ul>		

◇トライ東の活動(立派な青少年育成の公益目的事業の様子です)

2月5日“ボードゲームで遊ぼう”イベントでした！ユーススタッフを中心に、今日たまたま会った中学

生・高校生と一緒に挑戦！

トライ東のロビーには、利用者の皆さまから頂いた  
ボードゲームがたっぷりあります！



ぜひ、遊びに来てみてくださいね 🌸 ユーススタッフ  
がボードゲームに挑戦する様子は YouTube 公開中



## ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名） 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCA  
に入ったきっかけは？ 5. 思い出に残った活動とその理  
由は？ 6. 今後の進路は？ 7. YMCAに一言



- ①小林 亜望(なっば)
- ②国際医療福祉大学  
保健医療学部 看護学科
- ③栃木県宇都宮市
- ④ボランティア活動に参加  
したかったことと子どもが  
好きだったこと。
- ⑤ふくしま湖畔キャンプ  
初めての活動だったため

大変なこともありましたが他のリーダーに助けても  
らったり、子どもたちに元気をもらったりと、とて  
も楽しい活動だったからです。

⑥患者さんやそのご家族に安心感を与えられる看護  
師になりたいです。

⑦子どもたちや他のリーダーの憧れとなるようなリ  
ーダーになれるよう、頑張ります！これからもよろ  
しくお願いします！